

「静岡市民文化会館再整備事業」に関する改修内容の決定

1 要 旨

「静岡市民文化会館大規模改修・耐震補強工事」について、2月4日に入札不調となったことを受け、2月5日に市長臨時記者会見を行い、主に次の4点をご説明しました。

- ・入札価格が予定価格の倍以上で入札不調となったこと
- ・今回の不調には建築業界の需給のひっ迫が影響しており、当面の間、その状況が変わらないと想定されること
- ・市況が落ち着くまで、耐震補強は行わないこと
- ・前回発注予算の約161億円の中で優先的かつ早期に改修が必要な内容を検討、決定すること

そのうえで、次の4つの大方針をもとに、今後の改修を進めていくことを決定しましたので、お知らせします。

改修工事の4つの大方針

- 1 最低限必要な安全性と快適性を確保すること
- 2 再開館後も施設サービスを維持すること
- 3 予算の範囲は前回発注予算の約161億円の範囲で行うこと
- 4 再開館時期を遅らせないこと

2 改修内容の決定

本市では、建物を改修する際には、設備機器については20年程度で再改修が必要となることから、具体的な改修内容は、今後、概ね20年間、これまでどおり市民が文化活動できるレベルの改修工事に限定して検討しました。

(1) 具体的な改修内容

① 特定天井工事

大・中ホールにある特定天井の落下防止措置、及びロビー棟の特定天井の軽量天井化を行い、大規模地震による被害を防ぎます。

② 屋上防水と外壁改修

屋上防水や外壁改修を行い、建物の経年劣化を補修し、安全性を確保します。

③ 大・中ホールの座席更新

各ホールの座席を更新し、快適な鑑賞環境を確保します。

④ トイレのリニューアル・増設

既設トイレの洋式化や床、壁の更新を行います。

各ホール及びロビー棟にトイレを増設し、来館者の利便性向上を図ります。

⑤ 設備機器の更新

受変電設備や非常用発電機などを更新し、突然の故障等による休館等を防ぎます。

(2) 事業費

これらの改修に係る工事費は前回予算額(約 161 億円)に対して80億円程度となる見込みです。

(3)今後の事業の進め方

2025年度に実施設計を行い、2026 年度から工事を実施する予定です。

(4)再開館時期

改修後の再開館時期は、現在の事業スケジュールと同じ、2028年1月の一部開館を予定しています。

全部開館時期については、2028年12月の予定を前倒し、2028年4月の開館を目指します。

3 2025 年度の施設の部分使用について

現在の文化会館は、施設の老朽化により催事開催可否にかかわるリスクへの懸念から、2025 年4月から休館します。

しかし、2025 年度は工事着手を行わないため、2025 年3月 16 日で閉鎖する旧西河内小学校の子どもの遊び場の代替施設として、施設の一部(会議室等)を子どもの遊び場として活用します。

4 静岡市民文化会館の耐震性能とそれに伴う安全性について

大・中ホールの耐震性については、1997年度の耐震診断結果を基に、耐震ランクⅡ(耐震性能がやや劣る)と公表しています。2023年度、改修のための耐震補強計画を検討する際、再度の耐震診断を行いました。その結果、建物全体の評価は1997年度時点より数値が高くなる部分がある一方で、大ホールのホワイエ(通路と待合を兼ねている広いスペース)の Is 値※が低いこと、客席や舞台の耐震性能は Is 値 1.0 以上が確保されていることが確認されました。

今後の対応としては、地震発生時において、ホワイエに被害が生じることを想定し、防災計画の見直しを行います。

※Is値:建物が保有する耐震性能を数値で表した指標

【耐震診断結果】

診断年度	場所	Is 値(総合)	耐震ランク(Is/Et)
1997年度	大ホール	0.73	Ⅱ(公表済み)
	中ホール	0.85	Ⅱ(公表済み)
2023年度	大ホール	1.01	-
	中ホール	1.10	-

【2023年度の部分別耐震診断結果】 Is 値

	場所	舞台	客席	ホワイエ
X 方向	大ホール	1.03	1.03	<u>0.57</u>
	中ホール	1.35	1.13	0.66

担当:文化振興課 054-221-1044
公共建築課 054-221-1133